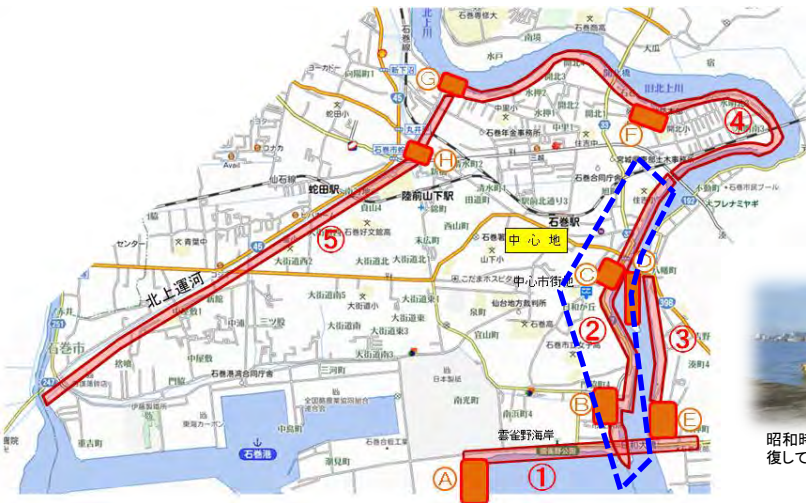


5. 旧北上川右岸下流のルート、拠点、ポイント

旧北上川右岸下流の位置



5-1 旧北上川右岸下流のポイント

- 門脇から住吉界隈は、舟運時代に入船出船そして蔵が立ち並び栄えた地域であり、ところどころに当時の面影が残る地域(石巻絵図に当時の繁栄ぶりが描かれている)。
- 川沿いは、昔、荷揚げ場として活用していたこともあるが、現在の沿川はプレジャーボートやヨットなどのプレジャーボートが停泊している(不法係留船)。
- 住吉公園は、昔からの石巻を代表する観光スポットであり、さまざまな物語を今に残している。
- 中瀬は、石巻を代表する観光ポイントとして石ノ森萬画館をはじめ多くの観光施設があり、家族連れや友達などで賑わっている。



昭和時代に門脇と湊を往復していた渡船



石巻港内港

▲新しい離島航路の整備が進む内港地区



▲ゆったりとした景観が広がる内港地区



旧北上川河口



門脇界隈

▲昔のたづまいを今に残す

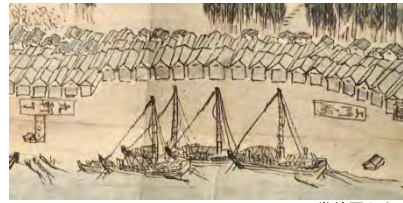


▲水辺はすばらしい景観が広がる

中瀬



中瀬でのイベント



▲千石船が往来していた石巻湊 石巻絵図より

旧丸光ビル周辺



中瀬のつろぎ空間と景観



住吉公園(袖の渡)



内海橋上流の堤防



ルート
2
ルートテーマ

いにしへの石巻湊と昭和の賑わいを訪ねる
「旧北上川と石巻湊ルート」

ルート方向性

- 安全に快適に水辺を緑を感じながら散歩できるプロムナード
- 水辺そばの道路は現在そのまま通れるようにする(門脇の幹線路)
- プロムナードから各ポイントへ行き易いように工夫(階段やスロープ)
- 途中々休憩し、水辺の景色を眺められるよう配慮

水辺の現況

- 河岸はもともと船の荷揚げ場(港湾)として機能していたこともあり堤防は無く、また近年は温暖化の影響から高潮が頻発化傾向。
- 河岸の道は内海橋から門脇方面へ行く幹線路のため交通量が多く、また歩道が無いため安全に歩くことは厳しい。



利活用方策

- 門脇や住吉地区は、江戸から明治にかけて千石船やひらた船が接岸した石巻湊の中心地であり、歴史探訪としての石巻の新たな散歩ルート(見どころ多数)。
そのためプロムナードは点在する史跡を探訪する際の幹線ルートとしての役割(⇒プロムナードから各ポイントへの行き易さを確保)。

水辺の史蹟めぐり探訪のイメージ



- 石巻の既存の散歩路や堤防上では散歩やウォーキングを楽しんでいる方を多く見かけます。そのため、新たなプロムナードには散歩時の目安となる距離標等を設置(自分の現在位置がわかる工夫)。



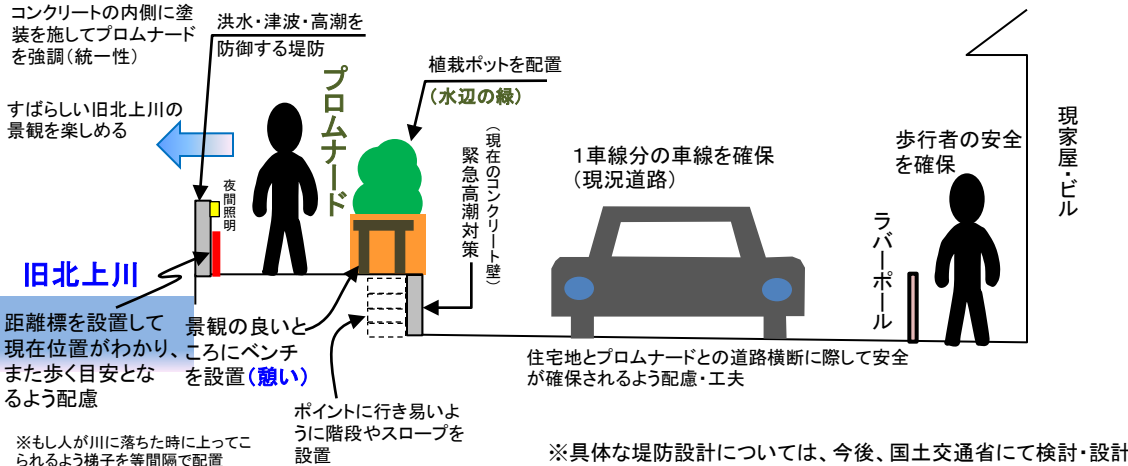
- 水辺の緑を創出・管理するため、町内会等により水辺愛護会(仮称)を結成し、河川清掃や植栽管理(植栽ポット)を推進。



- 子どもたちが水辺を散歩しながら旧北上川や水辺の環境などを学べるよう検討(散歩イベントや看板など)
- プロムナードが地域活性化などにも資するよう景観やデザインを検討
- 旧北上川の観光施設PRを兼ねて水辺沿いにイルミネーションを点灯し、水辺を盛りたてる企画を検討(ライトアップ)。

ルートイメージ

堤防とプロムナードのイメージ例



実現に向けて

- 河川管理・整備を担当する国土交通省へ、堤防整備と併せて水辺と親しむことができる水辺環境を提言。
- 北上川水系河川整備計画(現在策定中)に基づき実施される河川整備・管理に際して、堤防の設計段階からの地元への説明と調整を要望(堤防設計は国土交通省にて実施)。
- 堤防整備と連携して内水対策や環境整備などの関連事業を進める。
- 地元で問題となっている不法係留船の撤去は、船舶所有者に継続的に撤去を訴えていくとともに、収容施設の整備要望(県へ)と新たなマリナー整備を検討。
- 快適な散歩環境となるように臭気の解消などの環境改善を検討・推進(民間企業との連携も検討)。
- 水辺利用が推進されるよう、利活用方策に掲げた項目の中から実施可能なものから推進を図る。

拠点

B

拠点テーマ

離島航路を眺め、さざなみの1/f波のくつろぎ 「水辺の癒し空間」

拠点方向性

- 離島航路の発着所として新たに整備を進めている綱地島ラインの待合所と既に多くの方が利用している石巻文化センターの2施設を拠点。
- プロムナード散策の出發や目的場所として利用できるほか、文化センターでは石巻の歴史を学べる常設展示があり、歴史探訪などのプロムナード利活用において幅広い知識を得る散策メニューとして活用が期待(歴史探訪をより深く楽しむ)。
- 水辺近くの市立病院とプロムナードとの連携として、水辺の癒し効果を期待したプロムナード利用を検討(川のゆったりとした動きと時より聞こえる1/f波の波の音⇒癒し)。

拠点の現況

- 離島航路の発着所として新たに整備を進めている待合所と既に多くの方が利用している石巻文化センターの2施設を拠点(⇒新たな整備は無し)。
- 文化センターでは、既に多くの方が施設利用として利活用が進んでおり、プロムナード拠点としてさらに多くの利活用を期待(特に常設展示など)
- 内港のゆったりとした水(川)の動きと時より聞こえる波の音が憩いを演出。

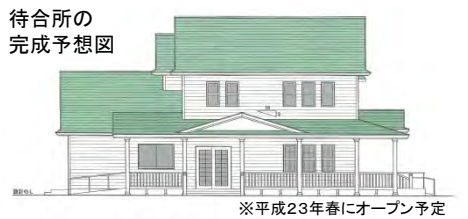


綱地島や田代島へ定期航路の発着所(写真はマーメイド号)

田代島や綱地島への離島航路の発着所



新たに綱地島や田代島への定期船が発着する浮棧橋(県にて整備)



待合所の完成予想図

※平成23年春にオープン予定

プロムナードの拠点としての待ち合わせ場所として待合室では休憩やトイレを利用することが可能。また、待合室では田代島や石巻のお土産や直産品を求めることができる「川の駅」的機能を検討。

石巻の歴史を学び、休憩もできる石巻文化センター

▼ 石巻文化センター外観

▼ センター内の常設展示



石巻地方の原始・古代から近代までを、各時代の特徴あるテーマで構成し、郷土の歴史を知ることができます。特に「港町石巻の繁栄」のコーナーでは、ベザイ船(千石船)の一部を実物大で復元しており、その構造などを 見ることが出来ます



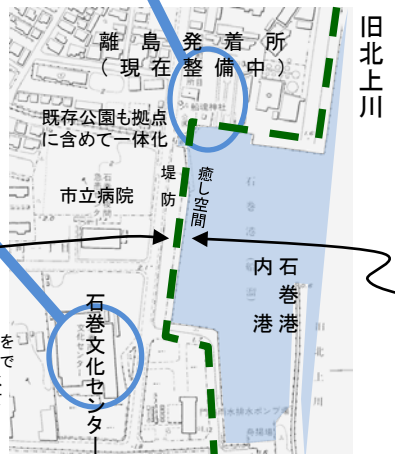
センター内にある交流広場



センター内ではベンチシートがあり、休憩やトイレを利用可能

河川沿いには高潮や洪水を防御する堤防が整備予定であり(国)、堤防と併せて水辺のプロムナードも併せて整備を予定。

拠点の概要



利活用方策

- プロムナードの全体図や現在位置がわかるように看板を設置して、プロムナードを巡る散策の推進を図る
- プロムナードの利活用が進むようにイベント開催など推進。



第8回北上川石巻湊古公開講座にて、船魂神社を探訪

▼ 癒しとしての水辺利用のイメージ

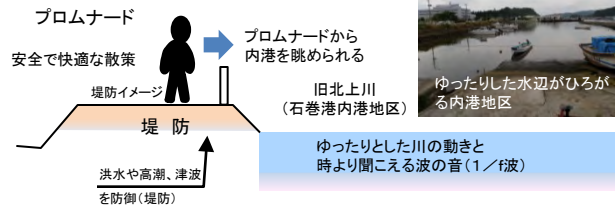


- 水辺の安らぎや癒しとしての効果と治療とを併せたプロムナード利用の検討(さざなみの音1/f波を利用した癒しなど)

- 綱地島ラインは、今、猫が大きく脚光を浴びている田代島への玄関口であり、また島から戻ってきた観光客が思い出の品を買いたい求めているところでもある(島では屋敷を食べるところが少ないなどいろいろ不便なところもあり、観光客を対象にした観光ガイド的な支援も必要)。また、文化センターでは石巻の歴史文化を紹介している。プロムナードの利用向上とともに、拠点内に石巻の名産品からお土産、絵葉書などを扱う観光センター的な機能も検討。

堤防とプロムナードのイメージ例

水辺の癒しの空間としてのプロムナード利用を検討(さざなみの1/f波のくつろぎ空間)



※堤防整備(破線はあくまでもイメージであり、詳細な堤防法線や形状は国土交通省にて検討・設計)

拠点
C

5-4 プロムナード拠点 旧丸光ビル周辺

雄大な旧北上川を眺めながら石巻を食を堪能する
「食彩・感動いしのまき」

拠点方向性

- プロムナードの目的地や出発地としての拠点であり、雄大な旧北上川を眺めながら石巻の食を味わう観光的な要素を含んだスポット(対岸の中瀬と連携することで拠点性を向上)。
- 11番街区の再開発にあたっては、堤防整備と連携して民間による建物などの再開発を推進(官民連携)。

水辺の現況

- 川前の道路は内海橋から市立病院や門脇方面へ行く道路として交通量が多く、歩道が無いので川沿いを安全に歩くことは厳しい環境。
- 中央二丁目11番街区は、石巻中心市街地活性化基本計画の開発拠点と明記されており、水辺を生かした堤防整備と連携した再開発が期待されている
- 高潮が頻発する箇所であり、国土交通省にて緊急高潮対策を平成21年度に実施。



▲河岸沿いに国土交通省で整備した高潮対策(コンクリート壁)



▲交通量も多く、安全に快適に歩くことができない



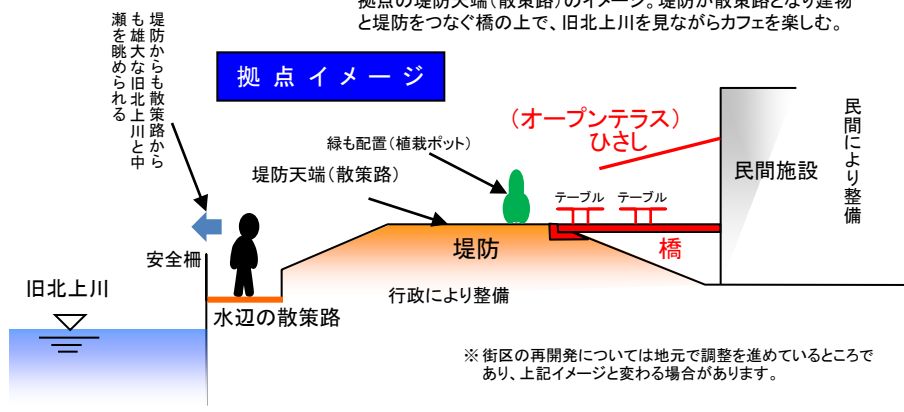
▲解体が進む旧丸光デパート (H22/9/11撮影)

拠点イメージ

- 官民連携により水辺の拠点整備を目指す。
- 堤防整備(国)と連携して背後地の11番街区の再開発を行うことで、川を眺めながらゆったりカフェや食事が楽しめるような空間を目指す。



拠点の堤防天端(散策路)のイメージ。堤防が散策路となり建物と堤防をつなぐ橋の上で、旧北上川を見ながらカフェを楽しむ。



整備実現及び利活用の推進に向けて

- 川を眺めながら石巻の美味しいものが堪能できるような再開発について、地元で現在検討を進めている。



- プロムナードの推進としてプロムナード全体図及び現在位置がわかるサインや案内板を設置。



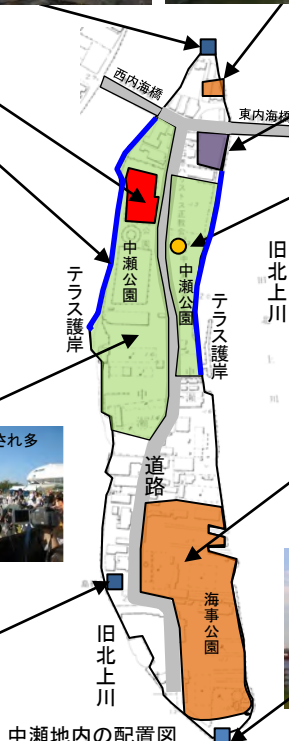
▲ 案内看板やサインのイメージ

360° 川に囲まれたミラクルゾーン
「プロムナードステーション」

- 中瀬は、石ノ森萬画館やハリストス正教会、公園など旧北上川そして石巻の観光ポイントとしての既に拠点が形成(⇒新たな整備は不要)。
- 11番街区と中瀬の連携により、多くの観光客や市民を集めるとともに、プロムナード方向へ人を河川の左右岸や上下流などの各方向へ広げる役割も必要(点から線、面への展開するための機能)

拠点の現況

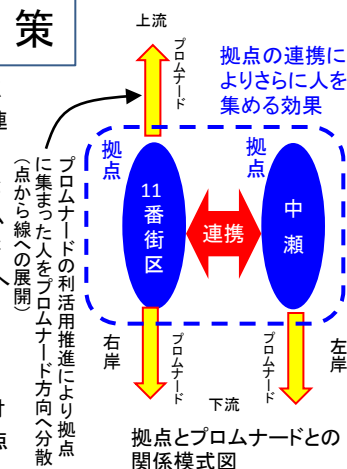
- 中瀬に位置する石ノ森萬画館は、石巻そして旧北上川の観光スポットとして年間約18万人もの観光客が訪れている(平成21年観光客入込数)。
- 周囲は360° 川に囲まれたすばらしい景観であり、水辺のテラス護岸や中瀬公園が整備され、また民間においても海事公園や川のロケーションを大事にした食事処が最近整備され、島全体が観光スポット。
- 近年、石巻を舞台としたフィルムコミッション活動の中で、石巻の古き良き時代の面影を今に残す「岡田劇場」が注目を浴びており、中瀬観光の新たな観光として脚光を浴びている(新しさと古さが調和した島)。



新鮮な海産物が味わえるレストハウス(海事公園内)

利活用方策

- 川を挟んで隣接する拠点「11番街区」と拠点間の連携を強化することにより、より多くの人を集めるとともに、集まった人をプロムナードを使ったイベント等によりプロムナード方向へ分散させて、点から線への展開を図る。
- 中瀬各施設(全体)がミュージアムとして位置付けることでさらに観光拠点の機能向上を図る。



- プロムナードの全体図や現在位置がわかるように看板やサインを設置して、プロムナードを巡る散策の推進を図る。
- プロムナードそして観光としての拠点性が高まる様な利活用(整備含む)を検討する(例:中瀬を一周できる散策路の整備と散策ツアーの企画など)
- プロムナードの利活用が進むようにイベント開催などを推進。



▲中瀬からの素晴らしい水辺の景色

イベントイメージ

海事公園でのイベント風景

第四回北上川石巻湊公開講座による歴史探訪会

- 中瀬は石巻・北上川観光の重要なポイントであり、プロムナード散策の拠点(集い、出発・終点地)でもあることから、石巻の歴史文化シンボリックなモニュメント設置を検討。

港いしのまきを象徴するモニュメント候補 若宮丸

6. 旧北上川左岸のルート、拠点、ポイント

旧北上川左岸の位置



6-1 旧北上川左岸のポイント

- 右岸同様、石巻湊が栄えていた時代には沿川には多くの蔵が立ち並び、湊地区も大いに賑わっていた。
- そのため、史跡が多く残っており、板碑には往時の繁栄や船の歴史を物語るものが多い(⇒歴史探訪などのイベント開催)。
- かつて漁港が置かれていたところであり、現在も残る棧橋や荷捌場が往時の繁栄を物語っている。
- 下流側には造船所があり、かつての造船のまちの姿を今に残している。



湊地区から眺める旧北上川の景観



旧漁港

平成22年度整備した高潮対策

棧橋への立ち入り禁止としてフェンス



湊時代は蔵が多く並び

千石船やひらた船が往来していた頃の北上川を描いた石巻絵図

石巻絵図より



造船所

石巻は造船の町(川口町)



旧漁港の賑わい

▲船から下された魚が道路まであふれるほどの活況を呈した



湊時代の史跡が多い(史跡探訪)



北上川・石巻湊公開講座による歴史探訪の様子